

平成30年度 江別市民体育館、江別市大麻体育館、江別市青年センター及び江別市東野幌体育館の管理運営に対する評価について

担当部署 教育部スポーツ課

1 指定管理者

(1)指定管理者名	一般財団法人江別市スポーツ振興財団
(2)指定期間	平成30年4月1日～令和4年3月31日
(3)業務の範囲	江別市民体育館、江別市大麻体育館、江別市青年センター及び江別市東野幌体育館の管理運営業務

2 利用者数等の状況

項目(利用人数、催し物参加者数、苦情件数、満足度等)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
利用人数	449,762	492,531	503,551	503,541	487,594
利用料金収入	36,706,930	40,093,429	40,892,727	41,130,414	39,256,861

3 管理に係る業務の実施状況

評価項目	執行状況(指定管理者記載)
(1) 施設等の維持・管理に関する業務	①日常業務 開・閉館の準備、利用マナー等の巡回指導、窓口・電話対応など適正な管理に努めた。 ②月次業務 各種利用状況の統計、報告事務、行事予定表の作成、クラブ受付等を適切に実施した。 ③維持補修業務 清掃等業務、各種法定点検、簡易修繕等を行い、施設の環境整備に努めた。 ④スポーツ教室の開催 各種健康・スポーツ教室等全81教室を開催し、計2,686人が受講した。
(2) 自主事業に関すること	市民の健康づくり、スポーツ活動の普及促進と各体育館利用の利便性向上のため、11の自主事業等を実施した。(記載については、主な7事業)
(3) 管理執行体制	管理運営にあたる職員の研修機会として、「北海道スポーツ振興団体連絡会議」、「全国公益法人協会特別講座」、「普通救命講習会(AED)」、「赤十字救急法養成講習」、「防火訓練」のほか、各種講座や研修会への参加を促進し財団運営、施設管理等の運営に必要な知識、技術の習得に努めた。

担当課モニタリング結果	
評価	施設管理では毎月の施設安全点検や各種法定点検が実施されているほか、清掃作業や簡易な修繕が行われるなど適切に管理運営されている。H30から新たに登山教室等を実施するなど積極的に自主事業に取り組み、体育施設のイメージアップとPRに努力している。また、管理運営や教室開催事業等に関する企画力や接客対応等の向上のための職員研修に取り組むほか、外部の研修事業等への職員派遣を通じて財団事業の充実、向上に努めている。
指摘事項	なし

4 施設の利用状況

評価項目	執行状況(指定管理者記載)
施設等の利用許可(貸館)に関する業務	①施設利用者数 4体育施設の総利用者数は487,594人であり、前年度比-15,947人で減少となった。 ②胆振東部地震により施設改修工事、大会等のキャンセルが発生した。 ③トレーニング室利用者数、市民体育館、大麻体育館、青年センター全ての館で最多利用者数を更に更新した。今後は施設拡張等が検討課題である。

担当課モニタリング結果	
評価	胆振東部地震により利用者が減少したものの、利用のニーズを踏まえたイベントやスポーツ教室等を開催しているほか、利用時間の拡充や健康づくりやスポーツの普及振興に向けた広報活動、PR等に積極的に取り組んでいる。
指摘事項	なし

5 収支状況

評価項目	執行状況(指定管理者記載)	
	実績	計画
経費等の収支状況	①〔収入〕	①〔収入〕
	指定管理料 182,219,000 円	指定管理料 182,219,000 円
	スポーツ教室受講料 10,481,248 円	スポーツ教室受講料 11,200,000 円
	利用料金 39,256,861 円	利用料金 40,692,000 円
	円	円
	合計 231,957,109 円	合計 234,111,000 円
	②〔支出〕	②〔支出〕
	管理運営費 226,565,101 円	管理運営費 224,311,000 円
	スポーツ教室開催経費 7,874,851 円	スポーツ教室開催経費 9,800,000 円
	円	円
合計 234,439,952 円	合計 234,111,000 円	

担当課モニタリング結果	
指定管理料の変更	無し■ 有り□ 変更前 円 ⇒ 変更後 円 変更理由
評価	青年センターの部分休館や胆振東部地震の影響により利用料金が減収となる状況にあっても、財団の独自財源(補正予算)を活用した備品購入や修繕により、市での予算措置が困難な利便性の向上が図られており、地域への貢献度は高い。
指摘事項	なし

6 その他

評価項目	執行状況(指定管理者記載)	
	実績	計画
(1) 来場者からの意見・要望等の対応	①施設全般について 老朽化による施設改修や備品整備等、整備出来るものは柔軟に対応した。 ②利用しやすい環境づくり 照明のLED化や、更衣室ドライヤーの更新を行った。また市と協議し非常用ドアの整備、トイレの防滑塗装等を行い 利用しやすい環境づくりに努めた。 ③スポーツ教室について 今年度も3期制の教室を開催し、より多くの新規受講者の受入れ体制を整えた。	
(2) 利用者サービス向上のための取り組み	①無料貸出 各種スポーツ用具、電話、傘などの無料貸出を行い、利用者サービスに努めた。 ②アンケート調査 施設利用者1,296人から回答を得て、今後の施設運営の参考にした。 ③安全な環境づくり 老朽化した自動ドアの並びに非常ドアを更新した。	
(3) その他特記事項	①お客様の声 各施設に記入用紙と回収箱を常時設置し、意見・要望に対して随時回答を館内に掲示した。 ②地域との協働と連携 身体障害者福祉協会や市内各地域健康づくり推進委員会等へのスポーツ事業に協力した。 ③社会的貢献活動 全職員による施設周辺のゴミ拾いや献血活動、募金活動を行った。	

担当課モニタリング結果	
評価	日常的に施設ごとに利用者の声を聴取し、ニーズの把握や意見・要望を施設の管理運営に生かす努力を継続しており、それらを踏まえた施設管理や事業運営、職員の接遇等の改善を図っている。
指摘事項	なし

7 昨年度の改善指摘事項の対応

改善指摘事項(何を、いつまでに)	担当・分担	対応状況(進捗、納期)
なし	・市 ・指定管理者	
なし	・市 ・指定管理者	